

CILとちぎ通信

第3号 平成22年1月16日発行

あけまして
おめでとう
ございます

今年もよろしくお願ひします

さくねん おも かつどう
昨年の主な活動



11月 ぼうさいがくしゅう
防災学習セミナー



9月 バーベキュー



5～7月 ちようきこうぎ
ILP長期講座

じりつせいかつ
自立生活センターとちぎ

〒321-0924 とちぎけんうつのみやししもぐり ちようめ ばん ごう らん どう
栃木県宇都宮市下栗1丁目20番7号エルディム蘭A棟103

でんわ
電話・FAX : 028-638-2538 E-mail : ciltochigi@silver.plala.or.jp

URL: <http://www11.plala.or.jp/ciltochigi/index.htm>

ぜんこく ようせいこうざ ふくしま 全国アドボケーター養成講座in福島

さいとうやす お
斉藤康雄

ふくしまけん おこな ぜんこく ようせいこうざ とうじしゃ けんりいしき
福島県で行われた「全国アドボケーター養成講座」は、当事者の権利意識
たか さべつきんしじょうれい せいていうんどう ようせい もくてき かいさい
を高め、差別禁止条例の制定運動のリーダーを養成することを目的に開催
され、おほ しょうがいとうじしゃ さんか
され、多くの障害当事者が参加されました。

グループワークでは、しょうがい りゆう こま おも たいけん
グループワークでは、障害が理由で困ったことやイヤな思いをした体験
をだしあい、そのじれい をいくつかの おな ぶんるい じれい
を出しあい、その事例をいくつかの同じグループに分類し、その事例から
わ かくはん はっぴょう
分かることを各班ごとに発表しました。

さべつ なん べんごし ひがしとしひろ しょうがいしゃ
差別って何だろう？というテーマで、弁護士の東俊裕さんから障害者
けんりじょうやく げんじょう ないよう さべつ ていぎ せつめい じょうやく ひじゅん
権利条約の現状と内容、差別の定義について説明があり、条約を批准す
るまえ さべつきんしほう せいてい こくないほう せいび げんざい
る前に、差別禁止法の制定など国内法の整備をしておかないと、現在の
じょうきょう すこ か き おどろ かん けんり
状況と少しも変わらないということを聞き、驚きを感じました。権利
じょうやく ひじゅん けんり ほしょう おも しょうげき
条約に批准すれば、権利が保障されると思っていたので、とても衝撃を



う
受けました。

けんりじょうやく とくべつ けんり そうせつ
権利条約は、特別の権利を創設す
るのではなく、いっばん かくさ う
るのではなく、一般との格差を埋め
るものであり、ごうりてきはりよ ひてい
合理的配慮の否定は、
さべつ あたら
差別であるということなど新しい
がいねん かくにん てん じょうやく
概念の確認している点や、この条約
は、さいこうきじゅん せかいきょうつう
は、最高基準ではなく、世界共通の

さいていきじゅん
最低基準であること。

しょうがいがいねん いがく しゃかい いがく こじん
障害概念では、医学モデルと社会モデルがあり、医学モデルでは、個人
のしょうがい もんだい たい しゃかい しゃかい もんだい
の障害が問題であるというのに対し、社会モデルでは、社会に問題がある
というしてん じょうやく しゃかい ちか かんけいせい
という視点にたっていて、条約は、社会モデルに近い関係性にあることな

どがとてもよくわかり勉強になりました。

また、そのお話しの中で、この権利条約ができて、福祉制度が整っていないければ、障害者は生活できない。また、福祉制度だけが良くて、差別はなくなる。例えば、日本では、福祉制度は、進みつつあるが、人権が遅れている。アメリカでは、障害者運動で ADA法が成立し人権が尊重されているが、福祉制度はない。或いは、福祉制度も人権もなく、生きるか死ぬかで暮らしている障害者が多くの国にいる。このように、各国の政策で、まちまちの発展の仕方がありますが、どちらか一方で良いかというそうではなく、福祉制度と人権、両方が整っていかないと障害者が住みやすい社会にはならないというところが、とても印象に残り、日本もまだまだだが、もっと辛い日々を暮らしている障害者が世界中にいることを改めて考えさせられました。



差別と偏見について、初めは違いが良くわかりませんでした。思想信条があり心の中で思うことが、偏見にあたり、「行為がある場合」障害を理由に異なる取り扱いをされると差別にあたるということです。今までは、何気なく同じように思っていました。差別と偏見の言葉の違いに認識できても勉強になりました。

障害者のことを相手に理解してもらうことも大切ですが、法律でどういうことが差別にあたるかというものさしがあることが重要で、その差別法のことを知っているか、知っていないかを関係なく、守らないといけないということになり、障害者が社会で生活する上で、いろんなトラブルに巻き込まれることがあったときの、この法律が障害者を守ってくれると思います。

今回の講座を受けて、差別について、これだけ話す機会もなく、他の方の差別されてきたお話、いろいろ経験されてきた話など、また私も同じ思いをした経験から共感できる部分が多くあり、勉強になった講座でした。

これから、今回の講座を参考に、差別禁止条例の学習会、ワークショップ等を開き、障害当事者に、差別について考えていただき、「こういうのが差別ですよ。」と分かってもらいたいと思いました。また、私もこれは差別ですよと思えるような感性も必要で重要だと思しますので、感性を磨きたいと思いました。

最後に、条例づくりには、障害当事者だけでなく、他の団体や地域との関係性づくりを持ち、協力していかないといけないことが分かりました。

「町の先生」

箱石充子

今日は朝から気温は低いけどよく晴れた気持ちがいい天気。

総合学習の中で障がい者の話を直に聞いて考えたりお勉強ということで、小学校3年生の授業に話をしに行きました。

いつものように、子どもたちの前に電動車イスで出て行ったところ、みんな驚いていたようです。最初は何を話しているのかわからないようでした。

でも、だんだん耳が慣れてきたのか真剣にあまりまばたきもせずに聞いてくれました。

40分ぐらいの話の中で途中ところどころで、私の話がわかるかどうかを聞いてみます。

話の内容がわからなかったり難しかったりするところはボランティアさんが噛み砕いて話をしてくれます。



ないよう い じぶん せいかつ はな なか しょう しゃ
内容はというと、自分の生活そのものを話してその中から障がい者がどう
いうところで困るとかどういったところで助けて欲しいか、今やっている
じりつせいかつ なに かんたん
自立生活センターというところが何をするとところか、簡単にわかりやすく
はなし すす
話を進めていきます。

きゆうけい はさ こんど しつぎおうとう じかん はなし まえ あと
休憩を挟んで今度は質疑応答の時間になるのですが、話をする前と後の
こどもたちの反応がまるで違う子どものように変わっていきます。話の
とちゆう しつもん い とき おも ひと わたし しつもん
途中で質問を入れたりする時に、「かわいそうだと思う人」との私の質問に
ほとんどの子は手を挙げます。でもその答えに対して「ありがとう。みんな
やさしいね。ともだち なか ひと せ たか ひと ひく ひと
優しいね。お友達の中にメガネかけてる人いない？背の高い人、低い人
るよね？それと同じように色々な人がこの世界には住んでいます。私は、
こういう首が曲がって体がぎぎぎ動いて話す言葉がうまく聞き取れな
い、これが私なんです。障がいはその人の個性だということを皆さん考
えてくださいね」とそんなふうにご話していくうちに変わります。「どこへで
もでかけるし、何でもやるし」と話をしているうちに目を丸くしていた子
どもたちは一斉に休み時間になると私のところへ駆け寄ってきて握手を
してくれました。かえ ころ はこいし げんき
帰る頃には箱石さんは元気だったね。かわいそうという
い かた
言い方はしなくなってきました。見方が変わってきます。

いつもこんなかじで学校回りをしていますが、私自身も楽しみですしや
りがいを感じます。 2009・10・30

バーベキュー

がつ にち うつのみやし しぜん
9月22日に宇都宮市のみずほの自然の
もりこうえん おこな
森公園でバーベキューを行いました。C I
Lとちぎのバーベキューは初めてという方
たすうさんか そうぜい めい こ
も多数参加してくれて、総勢40名を超え
るにぎやかな集まりとなりました。





こんかい かいじょう よう ろ あみ てっばん
今回の会場はバーベキュー用の炉や網・鉄板が

あるところだったのですが、^{にんずう おお}人数が多かったので、
^{しまえ}自前のバーベキューコンロも持ち込みました。

^{きせつ た もの}季節の食べ物として、^{さんま ようい}秋刀魚も用意したのですが、
^{にんき}人気はイマイチ。やはりバーベキューといえば肉
ですね。^{れいねんどお やさい あま}例年通り、野菜も余りました。

^{とうじつ てんき めぐ}当日は天気にも恵まれ、^{さんかしゃ はしもと}参加者の橋本さんのギ

^{えんそう}ター演奏があつたり、^{たにさんいんぎいん ふくしせいさく}谷参院議員から福祉政策の

^{はなし}話をいただいたり、^{はじ}初めての方や^{かた ひさ}久しぶりの人との^{ひと こうりゅう}交流があり、とても
^{たの}楽しい一日となりました。

さよなら！^{しょうがいしゃじりつしえんほう}障害者自立支援法 ^{わたし しんぽう}つくろう！ 私たちの新法を！

2009年10月30日に、東京の
^{ひび や おんがくこうかいどう こうせいろうどうしょうまえ}日比谷音楽公会堂・厚生労働省前で、^{しょう}障
^{しゃ けつきしゅうかい}がい者の決起集会がありました。それは、
^{じりつしえんほう みなお}自立支援法を見直し、^{とうじしゃ さんかく}当事者の参画によ
^{しんぽう じつげん}る新法を実現させ、^{わ くにぜんたい しゃかい}我が国全体の社会
^{ほしょうぜんたい}保障全体をより良いものにしようとアピールするものでした。



この^{ぜんこくだい}全国大フォーラムのシンポジウムには^{こっかいぎいん}国会議員3人が来ました。シ
^{ろんぎ}ンポジウムで、いろいろと論議がありまして、^{しょう}障がい者が暮らしやすい



^{ほうりつ さくせい}法律を作成すると、^{せんげん}宣言しました。そ
^{ひ さんかしゃ まんにん}の日の参加者は1万人でした。私は、
^{わたくし}くに^{きたい も}期待を持ちたいし、^{ほか しょう}他の障がい者
^{しや}達も暮らしやすくしてもらいたいです。

^{ほうこく}報告 ^{かわまたともやす}川俣禎康

ぼうさい かんが 防災について 考えてみました

こうれいしゃ しょうがいしゃ さいがいたいさく
高齢者や障害者の災害対策を
かんが ぼうさいがくしゅう
考えようという防災学習セミナーを、11月21日にサン・アビ
リティーズでおこな こうし
りで行いました。講師には、かくち じしん すいがい ひさいちいき
各地の地震や水害の被災地域
できゅうえんかつどうれき
で救援活動歴のあるとちぎボラ
ンティアネットワークのやの まさひろ
さんをおまね
さんをお招きしました。



さいがい たい ぼくぜん ふあん も ぐたいてき
災害に対しては、漠然とした不安を持ちつつも、具体的にはどんなこと
お とうどう かんが ひと おお
が起こるのか、どう行動したらいいのかについて考えていなかった人が多
かつたようです。とうじつ さんかしゃ やの はなし ねっしん みみ かたむ
当日は参加者みんなが、矢野さんの話に熱心に耳を傾け、
グループごとの話し合いにもいよくてき さんか
意欲的に参加していました。さらに内容を深
めただい かい かいさい おも
第2回セミナーも開催できたらいいなと思っています。



【 さんかしゃ かんそう 】 参加者の感想

こんかいぼうさい さんか
今回防災セミナーに参加させ
ていただき、さいがい
災害についての
にんしき あらた
認識を改めさせられました。
さいがい じ おお ひと
災害時には多くの人たちが
ようえんごしや ば
要援護者となり、その場ではど
うにもならなくなるケースが
おお
多いことを知りました。多くの人

たちにさいがい
災害についてのちしき も
知識を持っていただき、つねひごろ さいがい たい
常日頃から災害に対しての
そな 必要だと思ひました。よしむら
備えをすることが必要だと思ひました。吉村

「障がい者制度改革推進会議」初会合

障がい者政策全般を抜本的に見直すために、障がい者自身や家族らが参加した政府の「障がい者制度改革推進会議」の初会合が平成22年1月12日開かれた。会議のメンバーは6割の14人が障がい者自身や家族らである。

会議では、障がい者権利条約の批准に向けた障がい者基本法の抜本改正や、廃止を表明している障がい者自立支援法に代わる新制度「障がい者総合福祉法」(仮称)などについて、夏までに基本方針を示した中間報告を取りまとめる予定。

障がい者差別禁止条例について考えよう

日時 平成22年4月3日(土)午後
場所 とちぎ福祉プラザ 研修室
参加費 無料

詳しい方を講師に招き、解説してもらおう予定です。(調整中)

障がい者差別禁止条例ってどういうもの？

障がい者差別禁止条例があると何が変わるの？

条例の制定に私たちはどう関われるの？

少しでも興味のある方はぜひご参加ください。

機関誌購読会員募集中

自立生活センターとちぎの機関誌(年3回発行)の購読をしてくれる会員を募集しています。会員として登録してくれた方には、CILとちぎの様々なイベントのご案内もいたします。年会費 300円